

# 松江城下町遺跡 白潟 3A 区現地説明会

令和5年12月17日(日)  
島根県埋蔵文化財調査センター

島根県教育庁埋蔵文化財調査センターでは、大橋川改修事業に伴い松江城下町遺跡白潟地区の発掘調査を行っています。このたび松江市白潟本町・八軒屋町内の白潟 3A 区において、江戸時代（17 世紀）の町屋跡とそれに伴う大型礎石建物跡が確認されました。



## 1. 松江城下町遺跡の概要

松江城下町遺跡は、旧松江市街地の地下に眠る江戸時代の城下町跡で、江戸時代初期に堀尾氏によって造られはじめました。大橋川北岸の橋北地区では、これまで数多くの発掘調査が行われており、江戸時代の武家屋敷跡や町屋跡の様子が明らかにされています。

南岸の白潟地区では令和3年から発掘調査が行われ、江戸時代の町屋跡のほか、城下町建設以前の中世の遺構・遺物が確認され、これまで文献上でしか知られていなかった白潟の町の様子が明らかになりつつあります。

## 2. 主な調査成果について

江戸時代から近代にかけての複数の遺構面で町屋跡を確認しました。古い時代の遺構と同じ位置に重なるように新しい遺構がつけられており、江戸時代の地割が近代以降も踏襲されていることがわかりました。

- ・第1遺構面：近代の家屋の基礎となる石列や水路、井戸が存在します。
- ・第2遺構面：17世紀後半の東西9.5m×南北5m以上の大型礎石建物跡を検出しました。建物の柱を支える礎石には、長さ1mの大型の石材が使用されており、重量のある建築物が存在したと考えられます。
- ・第3遺構面：17世紀前半の遺構面で、調査区西側では南北方向の礎石列や石列を検出しました。西側の白潟本町通りに面した町屋の一部と考えられます。調査区中央には東西方向の石列があることから、この付近にも建物があった可能性があります。

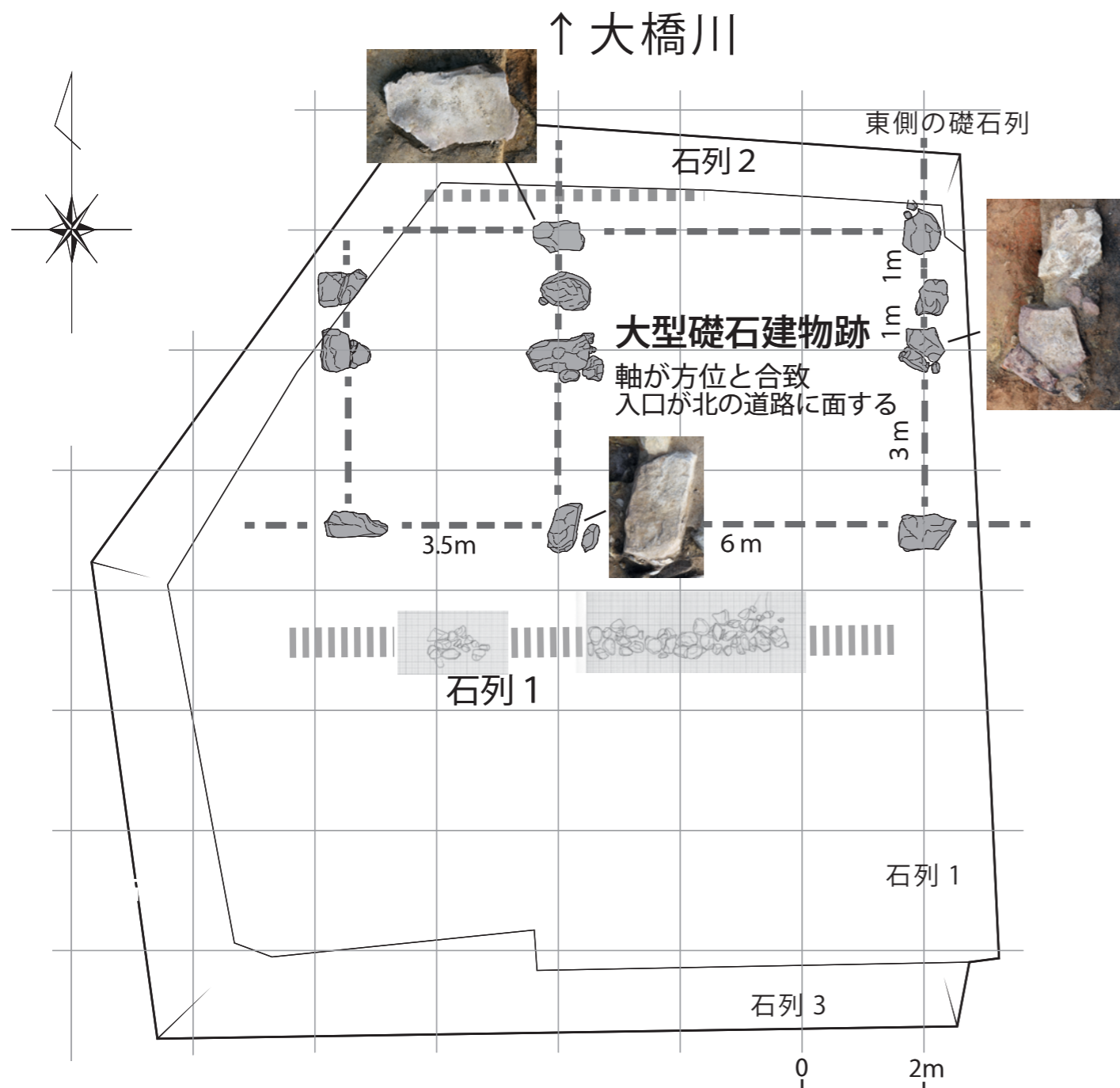
## 3. 調査の意義

松江大橋南詰は、江戸時代には有力な商家や大橋川を往来する船の積荷の点検・積み替えを行った船着き場が存在し、松江城下町における経済の中心地で、かつ交通の要所でした。今回の調査で確認された大型礎石建物跡は、その立地や規模から、商家の重厚な建物か、もしくは街道や大橋川を見通す櫓の可能性があり、白潟の町を象徴するような存在であったと考えられます。

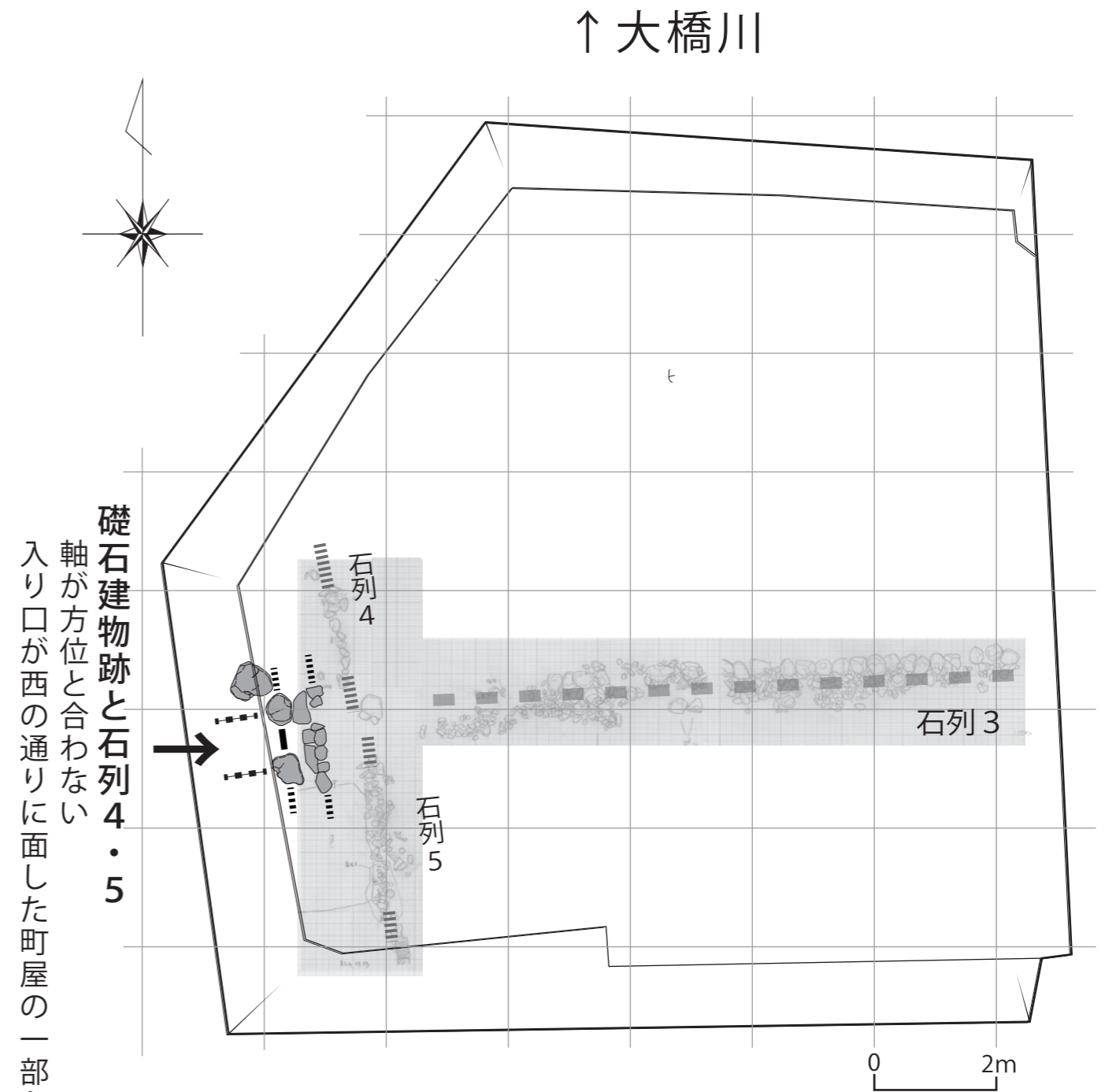
白潟地区関係年表

時代	和暦	西暦	出来事	
南北朝	観応元	1350	白潟橋の戦い	
	応永5	1398	『大山寺縁起絵巻』に「白潟橋」が描かれる	
中世	15世紀前半頃		白潟砂州の北端に井戸が造られる（2区）	
	明応4	1495	白潟に東西の町が存在	
	16世紀後半頃		白潟砂州の北端に石積み護岸が造られる（2区）	
	永禄5	1562	『籌海図編』に白潟が記載	
	〃	〃	毛利氏が出雲に侵攻し、白潟に放火	
	永禄9	1566	富田城開城、尼子氏が毛利氏に降伏	
	永禄12	1569	尼子勝久が出雲に入り、毛利氏から各所を奪い返す（尼子再興戦）	
	永禄13	1570	毛利氏が白潟を制圧、三沢氏が白潟を支配する	
	天正3	1575	九州の戦国武将島津家久が白潟を訪問	
	天正19	1591	吉川広家が白潟を支配する	
近世	慶長5	1600	関ヶ原の戦後に堀尾氏が出雲に入国	
	慶長8	1603	徳川家康が江戸幕府を開く	
	慶長12	1607	堀尾氏が松江城築城を開始、城下町建設が始まる	
	慶長13	1608	初代松江大橋にあたる長さ約153mの木の橋が完成する	
	寛永11	1634	京極忠高が松江藩主となる	
	寛永15	1638	松平直政が松江藩主となる	
	17世紀前半頃		魚町1～3番地が埋め立てられ、屋敷地が造られる（1区）	
	17世紀後半頃		魚町1～5番地の宍道湖側で直線的な石垣護岸が整備される（1区）	
	延宝3	1675	白潟に船年寄と船差が設けられる（渡海場の整備）	
	延宝4	1676	白潟で大火災が発生	
近現代	18世紀中頃		和多見町北側で大橋川の埋立て造成がおこなわれる（4・5区）	
	天明8	1788	佐陀川の開削事業が完了、日本海と宍道湖が直接つながる	
	明治	明治元	1868	明治維新
	明治23	1890	ラフカディオ・ハーン（小泉八雲）が松江に来る	
	大正	大正3	1914	初代松江新大橋が完成
	昭和	昭和12	1937	現在の17代松江大橋が完成する
	昭和47	1972	宍道湖大橋が開通する	
	昭和56	1981	くにびき大橋が開通する	

今回確認された遺構の時期  
第3遺構面  
第2遺構面  
第1遺構面



第2遺構面（17世紀後半）の礎石建物と石列



第3遺構面（17世紀前半）の礎石と石列



調査区と松江大橋南詰（北上空から）



第1遺構面（近代）



江戸日本橋と櫓屋敷 模型



写真提供：東京都江戸東京博物館